



特定健診の受診はお済みですか？ ～コールセンターを設置しました～

40歳以上の国民健康保険に加入されており、まだ特定健診を受診していない人を対象に、町が委託する業者から電話(☎0120-100-783)による受診勧奨を行います。特定健診を受診して、健康状態を確認しましょう。

個別がん検診・肝炎ウイルス検診 受診しましたか？



町内委託医療機関で受診できる個別がん検診と肝炎ウイルス検診の受診期間は、12月31日までです。早めに受診しましょう。

健康栄養相談(要予約)



健康について悩みを相談しませんか。血圧測定、体組成計による測定もできます。
▶と き/12月12日(月) ①午前9時30分から ②午前10時30分から
▶ところ/保健センター
▶持ち物/健康手帳(お持ちの方) みそ汁(大さじ1杯程度：塩分濃度測定希望者)
▶申込期限/12月8日(木)

乳幼児すこやか相談(要予約)

子育てについて悩みを相談しませんか。身体計測もできます。
▶と き/1月10日(火) 午前9時15分～11時
▶ところ/保健センター
▶対象/乳幼児
▶持ち物/母子健康手帳



にこにこキッチン

▶と き/1月11日(水) 午前10時～正午
▶ところ/保健センター
▶対象/令和2年2～11月生
▶定員/5人(先着順)
▶内容/親子クッキング
▶持ち物/母子健康手帳、エプロン、三角巾、手ふきタオル、お茶
▶申込期間/12月1日(木)～1月4日(水)

集団がん検診、集団特定健診 30代健診の予約状況(11月15日現在)



- 胃がん検診(バリウム検査)
▶ところ/保健センター
▶予約状況/

	①	②	③	④
12/5(月)	○	○	○	○
12/19(月)	○	○	○	○



①9:00～9:30、②9:30～10:00、③10:00～10:30
④10:30～11:00

- 子宮頸がん検診(内診、細胞診)
▶ところ/保健センター
▶予約状況/

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
12/5(月)	×	×	×	×	○	○	○	○
12/19(月)	○	○	○	○	○	○	○	○

①9:00～9:30、②9:30～10:00、③10:00～10:30
④10:30～11:00、⑤13:00～13:30、⑥13:30～14:00
⑦14:00～14:30、⑧14:30～15:00

- 特定健診(30代健診)
▶ところ/保健センター
▶予約状況/

	①	②	③	④
12/22(木)	○	○	○	○
12/23(金)	○	○	○	○
1/30(月)	○	○	○	○



①9:00～9:30、②9:30～10:00、③10:00～10:30
④10:30～11:00

○：受付可 ×：受付終了

▶予約方法/電話またはQRコードから予約 ☎22-1021



QRコード



▲予約はこちら

七草がゆの振る舞い

町民のみなさんの無病息災を願い、「七草がゆの振る舞い」を行います。なお、新型コロナウイルス感染症対策として専用カップによる“持ち帰り方式”とします。
▶と き/1月7日(土) 午前10時～正午(400食)
※なくなり次第終了します。
▶ところ/保健センター
▶その他/各自お持ち帰り用のエコバックを持参してください。ひとり1食のみのお持ち帰りとなります。



12月1日は「世界エイズデー」

世界エイズデーは、エイズの流行を防止すると同時に、差別や偏見を世界的になくすことを目的としています。“レッドリボン”をご存知ですか？
レッドリボンは、赤いリボンを約13cm程度の長さに切り、逆V字型に折り曲げ、安全ピンで衣服に付けます。レッドリボンを身につけることで、エイズとともに生きる人に寄り添い、応援していく、メッセージの表明になります。



♡エイズへの理解と支援の象徴

エイズは以前、「治らない病気」や「エイズ=死にいたる病気」というイメージがありました。しかし現在は、早期に治療を受けることで、免疫力を落とさず通常の生活を送ることができます。とはいえ、まだまだエイズの正しい知識を持たない人が多いことも事実です。レッドリボンにはエイズの理解を深める啓発の意味が込められています。

♡レッドリボンの歴史

レッドリボンは、ヨーロッパに古くから伝わる風習の一つで、もともとは病気や事故で命を落とした人々への追悼の気持ちを表したものでした。しかし、1980年代の終わり頃、アメリカでエイズが社会問題になります。当時、ニューヨークで活動している、アーティストたちの間でもエイズが流行し、亡くなる人が増えました。そして1991年、亡くなったアーティストに対する追悼の気持ちと、エイズに対する理解と支援の気持ちを表すためにレッドリボンが使われるようになりました。

♡レッドリボンはSDGsとも深い関わりがある 【目標10：人や国の不平等をなくそう】



目標10に定められた10のターゲットのうち、2番目の10.2には、“すべての人々の社会的・経済的・政治的な参画を推進する”とあります。エイズとともに生きる人が、学校や職場で差別されることなく、幸せに暮らす権利があることを、社会の中で保障していく必要があります。一人ひとりの尊厳が守られ、地球上の誰ひとり取り残さないという目標は、レッドリボンに込められた人権の尊重や偏見・差別の解消につながっています。